
令和5年12月19日

令和5年度第2回草津市健幸都市づくり推進本部会議

開催日時	令和5年12月19日(火) 午前9時15分から午前9時25分まで
開催場所	庁議室
出席者	市長、山本副市長、辻川副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(草津未来研究所担当)、総合政策部理事(経営・DX戦略担当)、危機管理監、総務部長兼法令遵守監、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、建設部理事(プール整備・草津川跡地整備担当)、建設部理事(住宅担当)、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長
欠席者	なし
議事概要	下記のとおり

議事

審議案件(1)草津市健幸都市基本計画の各施策の主要な取組の実績(令和4年度)および 計画全体の総括について

【事務局から説明】

【主な質疑・意見】

・特になし

審議案件(2)健幸都市づくり(令和5年度以降)に係る参考指標(バロメーター)および主な関連事業 について

【事務局から説明】

【主な質疑・意見】

・ウェルビーイングの観点について、全体目標や参考指標に取り入れられないのか。

⇒ウェルビーイングの観点は、重要であるとは考えているが、本市が掲げる「健幸」とほぼ同じ概念であると考えており、今回は「草津市健幸都市づくり基本方針」の政策体系に合わせて、関連する総合計画のベンチマークをピックアップして設定している。ウェルビーイング(に直接紐づいた指標の導入)については、総合計画(基本計画)の改定に合わせて検討していくべきものだと考える。

・個別事業の進捗管理をしないとのことだが、これまで(資料2)のような個別の事業・取組について、報告を行わないという認識でよいか。

⇒全体目標としている2つの指標や参考指標(バロメーター)の状況を見ながら、一定の評価を行う考えているが、その変動要因等を考察する(課題や成果の要因分析を行う)上で、今回、関連事業として挙げさせてもらっている個別事業について言及することはあり得る。

・要因分析の状況によっては、個別事業に関して、事務局から各課に対してヒアリングを行うということか。
⇒そのとおりである。

・参考指標(バロメーター)が、それぞれの政策分野に関連しているのか、ロジックが分かりにくいいため、その点を明らかにすることを検討されたい。意見として申し上げておく。

【本部長からの指示事項】

・総合計画を進めることで健幸都市が進められるため、健幸都市づくりの推進に向けて全体で協力して進められたい。

このページのお問い合わせ

概要作成担当	草津市 健康福祉部 健康福祉政策課 健康福祉政策係
電話	077-561-2360
ファクス	077-561-2482
メール	kenkofukushi@city.kusatsu.lg.jp